

JR東海は労基署指導を受けて 職場改善をどう進めるのか!?

現場で働く者の声を受け止めて 職場環境の改善を!!

東京交検車両所で組合員が熱中症で倒れた件に鑑み、検修庫の暑さ対策を指導するように品川労働基準監督署に新幹線地本が要請したことを「かべ新聞 N014」でお知らせしました。

われわれの要請を受けて、品川労基署現場指導は職場に赴き、指導をしました。品川労基署からは地本事務所に「9月10日に現場に行って指導をしてきました。」との報告がありました。

しかし、会社はこの指導を受けて検修庫の環境改善をどうするのか、労働組合にも現場で働く労働者にも一切明らかにしていません。

新幹線地本は、どういう指導内容なのか、どういう暑さ対策を実施するのかを明らかにするように申し入れを行ないました。

本来、現場で働くものの声に耳を傾けて、職場を働きやすくするのが会社の責任です。

私たちは、現場で働く社員が倒れても「本人の体調の問題」「職場環境の問題という認識はない」などと平気で言い放つ会社幹部に怒りを禁じえません。

職場の環境を改善するためにどんどん声をあげていきましょう!!